

出会い ふれ合い 助け合い

令和4年12月発行 第57号

SUSTAINABLE GALAL DEVELOPMENT



















【発行】

公益財団法人えどがわボランティアセンター 〒132-0031 江戸川区松島1-38-1 グリーンパレス

















電話:03-5662-7671 FAX:03-3653-0740 江戸川区は、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けてSDGsに積極的に取り組んでいます

"ボランティアフェスティバル" 3年ぶりに開催!!





10月16日(日)にタワーホール船堀で、"2022えど がわボランティアフェスティバル"が3年ぶりに開催さ れました。今年は「SDGsとボランティア」というテー マに沿って、ボランティア団体の活動の紹介とボラン ティア相互の交流や連携を図ることとしました。

式典では、石井実行委員長から「今日はボランティ ア同士の交流をさらに深めて」との挨拶。続いて斉藤 江戸川区長から「SDGsは将来世代への思いやり」と の挨拶がありました。次に、鹿骨の密蔵院住職の名取 講師から「SDGsとボランティア」の講演があり、皆さ ん熱心に耳を傾けていました。

展示コーナーでは、26団体が「団体活動の紹介」 「SDGsの取組」「コロナに負けない一言」をポスター で紹介しました。

イベントコーナーでは、6団体による活動と体験、ク ボタスピアーズは社会貢献活動を紹介しました。

ステージでは、6団体が活動の発表を行いました。 当日会場に訪れた延べ420人の区民の方々は、久 しぶりに対面でのフェスティバルを楽しみました。



斉藤猛区長あいさつ(手話通訳ボランティア:大森惠子さん)



小久保晴行理事長の開会のことば



石井修一実行委員長あいさつ



名取芳彦(なとりほうげん)氏の講演会

問合せ先

(公財)えどがわボランティアセンター 203(5662)7671



緑伸会が江戸川河川敷で清掃活動を再開







10月29日(土)に江戸川河川敷にて、ボランティア団体の緑伸会(設立:昭和47年10月、代表:工藤芳朗さん)の呼びかけで清掃活動が行われました。

同会は、50年にわたり街に花や緑を増やし、清掃活動も続けています。



コロナ禍で休止していましたが、4年ぶりの再開となった今回は、小岩第二中学校生徒(165名)、小岩警察署、ナイスともがら、㈱ジェイコム、大塚製薬㈱、区環境部、えどがわ環境財団、当センターの協力のもと、総勢200名のボランティアが、江戸川病院前堤防から小岩菖蒲園まで、約1時間かけて2トントラック2台分のごみを回収しました。

最後にあおぞら環境学習を実施し、同校の髙萩校長先生からご挨拶の後、終了となりました。



工藤代表は、「4年ぶりに江戸川河川敷の清掃活動が再開でき、若い皆さんの力に感謝しています。これからも皆さんと力を合わせてできる限り続けたい」と話していました。



竹と親しむ会が総合学習





竹と親しむ会(代表: 羽田勝彦さん)は、篠崎町5丁目の「竹と親しむ広場」で、竹の育成、竹垣の管理、竹細工などをボランティアで行っています。

10月14日(金)、篠崎 小学校の3年生の総合学 習で、珍しい竹の花を見 せたり、竹トンボを飛ば すなど、竹とふれあう機 会を提供しました。

「にんぎょうげき」を披露

9月10日(土)にグリーンパレスで、「江戸川ボランティアおはなしこばこ」による"にんぎょうげき"が上演されました。今回、同会の5人(山本さん、兜さん、早川さん、泉さん、及川さん)は、ひよこのクッキーちゃんとオオカミを操り、たくさんの親子の前で披露。

今回で年間100回となり、昭和59年から通算 2,638回となりました。参加した親子の皆さんは笑い ながら劇を楽しんでいました。





このページのお問い合せ先

(公財)えどがわボランティアセンター

TEL 03-5662-7671

皆さんのお陰で無事力エル(折り紙)がニコ







「夏のボランティア体験」に参加したボランティアの皆さんから600 点を超えるカエルの折り紙が寄贈されました。

この折り紙の「無事カエル」には、"大切な人が無事に家に帰ります ように"との思いがあります。今年は、当センターの前で「一人一点お 持ち帰りください」として出品しました。

グリーンパレスに来た子どもたちに好評で、楽しそうに選んで、持っ て帰っていきます。なお、同時に寄贈された雑巾100枚は、今後、保育 施設等で活用していただく予定です。皆様ありがとうございました。







令和4年度内閣府「エイジレス章」を受章

~おはなしボランティア代表 山本國子さん~



内閣府は、全国で「エイジレス・ライフ」(※)を行っている高齢者の個人・団 体を広く紹介するとともに、「エイジレス章」を授与しています。今回、令和4年 度のエイジレス・ライフ実践者に、おはなしボランティア代表の山本國子さん が全国55名のうちの一人に選ばれ、10月に斉藤江戸川区長を通じて「エイジ レス章」が授与されました。山本さんの「エイジレス・ライフ」は、約40年にわた る次のボランティア活動です。

- 1 図書館や保育園での紙芝居、絵本や昔話の読み聞かせ
- 2 小中学校での障害者理解のための出前授業(累計980回)
- 3 公的に支援の届かない視覚障害者の方へのサポート 山本さんは「この受章は私ひとりではなく、ボランティア仲間の支えがあっ てこそで、江戸川区全体のボランティアの皆様と一緒に喜びたい」とお話して いました。おめでとうございます。
- ※「エイジレス・ライフ」とは、年齢にとらわれず自らの責任と能力において、自 中で生き生きとした生活を送ることを言います。



ボランティア団体登録数

登録団体数:178団体 登録人数:4.624人 (令和4年10月末現在)



9月·10月分

使用済み切手 受領:60件/15.6Kg

ボランティアの振興に、有効に使わせていただきます

2022 ボランティアフェスティバルを振り返って



今回は、新型コロナ感染症防止対策をしたうえで開催されました。次回は、令和5年11月25日(土)にタワーホール船堀で開催の予定です。

詳しくは、今後のボランティアセンターHPやボランティアセンターだよりをご覧ください。